

校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

「リスタート1週目 分散登校①」

校長 藤 至光

6月1日(月)から横浜市立学校が教育活動を再開しました。丸山台中学校でも各クラスの出席番号の奇数、偶数の生徒が午前、午後に分かれて分散して登校する形で再開しました。

今回のように感染症感染拡大防止のための休校措置も教員になって初めてのことでしたが、生徒が分散登校して学校生活を送るという経験も初めてのことでした。クラスを半分程度の少人数に分けて、複数の先生がそれぞれのグループの授業を進めていくことは今までもやっていますが、午前と午後と同じクラスの生徒を分けて、同じ先生が同じ授業を展開していくというのは、なかなかできない経験かもしれません。いくら教員といえども、午前と午後と同じクラスの違う生徒に全く同じ授業を実施するというのは、なかなか神経を使うものです。そのような状況下で、生徒も教員もマスクを着用しているため、教員が生徒に語りかけてもお互い口元が見えないため、アイコンタクトでしか意思の疎通ができないようなところもあり、お互いに様子を伺いながらの授業展開となり、それぞれの授業はとても静かに進んでいきました。改めて「表情が見えるって安心できるんだなあ」と思ったところです。

さて、予めこのような状況を想定していた先生方は、それぞれの持ち味を出しながら、「私への質問に全て回答する」形で場を和ませながら自己紹介をしたり、「学年の先生方が学生時代にどのようなアルバイトをしていたか？」という内容で興味を引き出しながら話術で展開する先生がいたり、タブレットを駆使してオリジナルの教材を作成して、教科のオリエンテーションを展開したりと様々な工夫を凝らして相互理解を深め、互いの距離を縮めようと頑張っていました。なかには、教室の静寂に耐え切れず、相互コミュニケーションを図ることができるようにゲーム的な要素を取り入れ、クラスのリスタートを楽しい雰囲気になろうと試みた先生もいました。

「ソーシャルディスタンス」、「マスク着用で表情がわからない」、「一つとびの座席で話しにくい」、「三密回避の意識」等、感染拡大防止対策により、コミュニケーションが図りづらい状況にありますが、同じ空間で同じ時間を過ごすだけでも少しずつお互いの距離は縮まっていくと私は信じています。今週より来週、机の距離は変わらなくても、心の距離が近づいている実感を味わってほしいものです。

最後に、今日は1年生が担任引率のもと、校舎探検をする日でした。1年全クラスが校長室にも立ち寄ってくれて(というより職員室への入り方を説明しているところに私が無理やり出ていった感じでしょうか)、皆さんが元気に挨拶をしてくれたことが、この1週間の緊張と疲れを癒す素敵なお出来事でした。

生徒の皆さんにも疲れは出てくると思います。週末に体調を崩さず来週も会えることを楽しみにしています。十分な睡眠、バランスのとれた栄養で免疫力を低下させないことが大事!